

評価 (C) ↓ 改善 (A)	令和5年度	評価 (C) 等を踏まえた改善方策 (案)】	(1) 訪問系サービス	
			居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護・重度障害者等包括支援	見込値を上回っており、一定の成果を得ていると考えます。今後も利用者への適切なサービスの支給決定の実施や、サービス提供体制の充実(良質なサービス提供)に努めます。
			(2) 日中活動系サービス	
			生活介護	見込値を上回っており、一定の成果を得ていると考えます。今後も利用者への適切なサービスの支給決定の実施や、サービス提供体制の充実(良質なサービス提供)に努めます。
			自立訓練 (機能訓練)	
			自立訓練 (生活訓練)	
			就労移行支援	
			就労継続支援 (A型)	
			就労継続支援 (B型)	
			就労定着支援	
			療養介護	
			福祉型短期入所	
			医療型短期入所	
			(3) 居住支援・施設系サービス	
			自立生活援助	現在、市内に開設している事業所がないため、新たにサービス提供を検討している事業所への情報提供、ならびに開設に向けた相談等を受け、今後サービス提供できるように努めます。
			共同生活援助 (グループホーム)	見込値を上回っており、一定の成果を得ていると考えます。今後も利用者への適切なサービスの支給決定の実施や、サービス提供体制の充実(良質なサービス提供)に努めます。
			施設入所支援	成果目標である「(1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行」の「イ 施設入所者の削減」で設定した目標値を一部達成しており、一定の成果を得ていると考えます。今後も利用者への適切なサービスの支給決定の実施や、サービス提供体制の充実(良質なサービス提供)に努めます。

評価 (C) ↓ 改善 (A)	令和5年度	(4) 地域生活支援拠点等	
		地域生活支援拠点等の設置	令和5年度は緊急時の受入施設として、1施設各1床空床を委託契約により確保しました。また、年度末には地域生活支援拠点等事業のモデル実施のための、事業者募集を行いました（自立支援協議会等で検討のうえ、3グループを選定）。
		地域生活支援拠点等が有する機能の充実に向けた検証及び検討	機能充実に向けた検証・検討会は、令和5年度は2回実施しました。これらをふまえ、次年度以降も拠点の整備を進めていきます。
		(5) 相談支援（計画相談支援、地域相談支援）	
		計画相談支援	概ね見込み値どおりであり、一定の成果を得ていると考えます。自立支援協議会で開催する連絡会議や研修会を通じて相談支援専門員の質の向上を図るとともに、関係機関との連携強化を進めます。
		地域移行支援	
		地域定着支援	
		(6) 障害のある子どもに対する支援	
		児童発達支援	概ね見込み値を上回っており、一定の成果を得ていると考えます。今後も利用者への適切なサービスの支給決定の実施や、サービス提供体制の充実（良質なサービス提供）に努めます。
		医療型児童発達支援	
		放課後等デイサービス	
		保育所等訪問支援	
		居宅訪問型児童発達支援	
		福祉型障害児入所支援	
		医療型障害児入所支援	
		障害児相談支援	
医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーター	保健、医療、福祉、子育て、教育等の必要なサービスを総合調整し、医療的ケアが必要な子どもとその家族に対して、サービスを紹介するとともに、関係機関と医療的ケアが必要な子どもとその家族をつなぐため、今後も引き続き、総合療育センターに医療的ケア児コーディネーターを配置し、相談対応等を行います。		
評価 (C) 等を踏まえた評価、改善方策 (案)]			

評価(C) ↓ 改善(A)

令和5年度

評価(C) 目標等を踏まえた評価、改善方策(案)】

(7) 発達障害のある人等に対する支援	
発達障害者支援地域協議会の開催	発達障害児者支援における効果的な情報共有の仕組みや支援者であるコーディネーター間の仕組みについて検討・整理をするため協議会とは別にワーキンググループを設置し協議をしました。令和6年度はワーキンググループの検討結果を踏まえ、発達障害者支援センター「つばさ」を中心に、関係機関の協力を得て効果的な情報集約・情報発信のための検討等を進めます。
発達障害者支援センターによる相談支援	延べ相談件数は2,740件と減少しましたが、利用者の悩みや不安の解決につなげる事ができました。引き続き、各関係機関と連携を図り、支援の場を広げられるように努めます。
発達障害者支援センター及び発達障害者地域支援マネージャーの関係機関への助言	教育機関や医療機関など、多くの関係機関と連携した。相談支援や助言指導、研修、セミナーなどを実施した。引き続き、各関係機関との連携を図り、支援の場を広げられるように努めます。
発達障害者支援センター及び発達障害者地域支援マネージャーの外部機関や地域住民への研修、啓発	関係機関に対し、相談支援や助言指導、研修、セミナー等を実施した。引き続き、研修・啓発に尽力し、発達障害者支援について広く普及できるように努めます。
ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラム等の受講者数	発達障害者支援センター「つばさ」にて「発達や行動が気になる子ども」勉強会を開催した。引き続き、障害児者の家族を支援するためペアレントトレーニング等各種支援プログラムを充実させ、受講者を増やせるよう努めたい。
ペアレントメンターの人数	現在18名が登録。市民講座等での子育て体験の発表や相談カフェ等に先輩保護者として参加し、地域で当事者同士が支え合う仕組みに協力してもらっている。引き続き、要請に対応できるよう準備に努めます。
ピアサポートの活動への参加人数	令和5年度は、延べ64名がピアサポート活動に参加している。今後も、当事者同士が支え合う活動として、取組みを継続したいと思えます。
(8) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	
保健、医療及び福祉関係者による協議の場	市の付属機関である「精神保健福祉審議会」を活かして協議を行いました。
精神障害のある人の地域移行支援	概ね見込み値どおりであり、一定の成果を得ていると考えます。自立支援協議会で開催する連絡会議や研修会を通じて相談支援専門員の質の向上を図るとともに、関係機関との連携強化を進めます。
精神障害のある人の地域定着支援	概ね見込み値どおりであり、一定の成果を得ていると考えます。自立支援協議会で開催する連絡会議や研修会を通じて相談支援専門員の質の向上を図るとともに、関係機関との連携強化を進めます。
精神障害のある人の共同生活支援	概ね見込み値どおりであり、一定の成果を得ていると考えます。自立支援協議会で開催する連絡会議や研修会を通じて質の向上を図るとともに、関係機関との連携強化を進めます。
精神障害のある人の自立生活援助	障害福祉サービス所管課である障害者支援課を含めた関係機関との情報共有、連携強化を図ります。
(9) 相談支援体制の充実・強化のための取り組み	
総合的・専門的な相談支援	見込みどおり実施し、一定の成果を得ていると考えます。自立支援協議会で開催する連絡会議や研修会を通じて相談支援専門員の質の向上を図るとともに、関係機関との連携強化を進めます。
地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導・助言	見込み値を上回っており、一定の成果を得ていると考えます。自立支援協議会で開催する連絡会議や研修会を通じて相談支援専門員の質の向上を図るとともに、関係機関との連携強化を進めます。

評価(C) ↓ 改善(A)

令和5年度

評価(C) 目標等を踏まえた評価、改善方策(案)】

地域の相談支援事業者の人材育成の支援	見込み値を下回っているものの、一定の成果を得ていると考えます。自立支援協議会で開催する連絡会議や研修会を通じて相談支援専門員の質の向上を図るとともに、関係機関との連携強化を進めます。
地域の相談機関との連携強化の取り組み	見込み値を上回っており、一定の成果を得ていると考えます。自立支援協議会で開催する連絡会議や研修会を通じて相談支援専門員の質の向上を図るとともに、関係機関との連携強化を進めます。
(10) 障害福祉サービスの質を向上させるための取り組み	
障害福祉サービス等に係る各種研修の活用	福祉事務所職員を対象に障害福祉サービス等に関する研修を行っています。
障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果及び指導監査結果の関係自治体との共有	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回、関係自治体等と連携して情報共有を行うとともに、必要に応じて関係自治体と随時連携して情報共有を行っています。 ・新しい審査ソフトの導入により、給付費請求データの抽出（特異な傾向を示す加算の取得等）を行い、事業所指導に活用しています。
(11) 地域生活支援事業	
必須事業	
(ア) 理解促進研修・啓発事業	
障害者差別解消・共生社会推進事業	障害を理由とする差別の解消を効果的に推進するため、市民及び事業者に対し、出前講演等を実施するとともに、助け合いのしるし「ヘルプマーク」の周知啓発を行いました。引き続き啓発活動に積極的に取り組むとともに、広報の手法を工夫するなどして市民及び事業者に対し、合理的配慮について理解を深めてもらうことが必要と考えます。
触法障害者支援事業	見込みどおり実施し、一定の成果を得ていると考えます。引き続き、入口支援を行うとともに、支援機関との連携・協力体制の強化に努めます。
(イ) 自発的活動支援事業	
ピアカウンセリング事業	概ね見込み値どおりであり、一定の成果を得ていると考えます。引き続き、ピアカウンセラーによる相談対応体制を維持し、障害のある人や難病患者が自立した日常生活を営めるように支援します。
地域精神保健福祉対策（ピアサポート事業）	継続してピアサポーターの養成を行い、市民や当事者・家族、支援者に対して、ピアサポーターが体験談を話し、精神障害について理解を深める取り組みをすすめました。今後も、ピアサポーターの活用の機会を活かせるよう支援を継続します。
本人活動支援事業（ボランティア参加促進）	当初の見込みを上回っており、一定の成果を得ていると考えられます。今後も引き続き、障害のある人がより参加しやすい活動内容なども検討しつつ、障害のある人の社会参加を推進します。
(ウ) 相談支援事業・専門性の高い相談支援事業	
障害者相談支援事業（障害者基幹相談支援センター）	見込み値どおりであり、一定の成果を得ていると考えます。引き続き、訪問支援（アウトリーチ）を含めたきめ細かな相談支援を行うとともに、関係機関との連携強化や相談内容の傾向分析に努め、障害のある人が地域で自立した生活を営むことができるように支援します。
障害者基幹相談支援センター等機能強化事業	見込みどおり実施し、一定の成果を得ていると考えます。引き続き、訪問支援（アウトリーチ）を含めたきめ細かな相談支援を行うとともに、関係機関との連携強化に努め、障害のある人が地域で自立した生活を営むことができるように支援します。
住宅入居等支援事業（居住サポート事業）	見込みどおり実施し、一定の成果を得ていると考えます。引き続き、総合相談窓口である障害者基幹相談支援センターと一体的に運用することにより、居住に関する相談に限らず幅広い支援を行います。また、病院や相談支援事業所と連携し、相談者の地域移行を支援します。
発達障害者支援センター運営事業	前年度に引き続き、利用者の悩みや不安について解決につながる事ができたと考えます。引き続き、各種相談支援に加え、発達障害支援者の育成にも努めます。